

---

# ほりでー・ざ・がんろーど

夜桜 野鈴

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ほりでー・ざ・がんろーど

### 【Nコード】

N9876X

### 【作者名】

夜桜 野鈴

### 【あらすじ】

本編ではありません。本編ではありません。  
大事なことなので二回言いました。

GUN-loadの余興、旧GUN-loadの余談-load  
を知っているなら謎のテンションについていけると思います。

## ほりでー・ざ・がんろーど1 (前書き)

今回は本編ではありません。

三話に一度の割合で旧GUN・loadでやっていた『余談・load』の改訂版『ほりでー・ざ・がんろーど』をやりたいと思います。

こちらはアナザーストーリー、もしもの話。

記念すべき第一回目は、王道ネタの学園ストーリー。

『学園・load』開校!!

ほりでー・ざ・がんろーど1

キーンコーンカーンコーン

耳慣れたチャイム。

学校によつて高低に差異はあるが、皆のよく知るリズムの何ら変わり無いチャイムを想像していただければ構わない。

ん？ 地の文の口調が横柄だつて？

それは語り手が作者ではないから仕方がないだろう？

さてさて、まだキャラを数えても六人しか登場していないのにとつちやつて進行したものが……。

作者の散歩好きも大概な物だ。疲れたから適当に学園モノのアナザーストーリーをしると前書きだけ書いて逃げた。

だいたい

「理事長の地の文なげえよ」

と、クラスの不良生徒《凶刃の六番》君は鉦を振り回して抗議

「つて、周りの生徒逃げてるからな？ 危ないから振り回すな

そしてこちらに向いて投擲の構えをとるな」

原作設定的に一番凶器の持ち込みが安易なのが《凶刃の六番》だとか学級崩壊どころか学園崩壊だ。

そして今更状況を説明するが今は全校集会の真つ最中だ。

壇上に立つて無言でモノローグを語っているだけなのだが、何故《凶刃の六番》君は心を読んだ……！？

「普段から理事長は心中の独り言が多いことは全校生徒暗黙の知識です」

辛辣口調は生徒会会計の《粉碎の十番》さん。

「とりあえず何か喋ってください、と懇願します。これは全校生徒教職員一同の総意ですのぞ」

「俺はそんなに嫌われていたのか」

「理事長、只今夜桜野鈴から通信文が届きました」

今集会中なんだから電源切るのが普通だ。そして、今更作者何の用だ？

「内容は

『実はボクもお前のこと嫌いだったりする』

だそうですね」

作者あああああああ！！

「あと完全に心のこもった読み方をした《粉碎の十番》はあとで理事長室こい」

「理事長しつこい、ですか？ 何を今更分かりきったこと発言をするのですか？」

「違う。理事長室に來いと言ったんだ」

全校生徒「あ、もしもし警察ですか？」

「何故セクハラにされるのだ！？」

この学園、理事長に厳しくないか？

全校集会が長いだけでこの外道所業。ホワイ？

「すいません、また夜桜野鈴から通信文です」

「もっ見せるな……」

「『鋼の動乱編でお前の出番ないから』と、見せるなと言われたので音読しましたが？」

「誰がそんな頓知をええと言った！？」

衝撃事実だ。出番はあると思ってたのだからな。

「所詮次話キャラですよ、次話キャラ」

何で二回言ったんだ？ 大事だからか？ ええ？

と、《アトリビューションナンバー》連中がぐだぐだやってるー

方の生徒群衆内

「ねえカイト」

「なんだよ？」

今まで無言だったのが不思議なヒロイン&ヒーローがやり取りをしていた。

「さっき作者からメールがあつて、《アトリビュションナンバー》が無能だから私たちが締めろつて」

「ああ……てか作者どっかから監視してるだろ絶対」  
ラクは短く笑つて返す。

「じゃあねえな。じゃあ謎かけ行くか？」

学園関係ない気がする。

「一応リアルじゃ芸能研究会なんだよ」

あ、そうでしたね。

「《鋼の穿》とかけて貧血ととく」

そのころは？

「どちらも『ち（送り仮名と血液）』が足りません」

お後が宜しいようで。

「ラク、なかなか良い合いの手だったぜ」

「私、喋ってないんだけど？」

また次回会いましょう。

「「「「「ああ！ この地の文作者だ！」「」「」「」

## ほりでー・ざ・がんろーど1（後書き）

で、作者は帰宅しました。

理事長の正体は間のいい人ならずぐわかるでしょう、恐らく。

まあもしもの悪ふざけなんで読み飛ばした方が楽だったりしますけどね。

原作関連のネタも付属しましたが、まあカイトの洒落は本編で聞けることはまず少ないでしょうね。

作風にあいませんし。ですが、旧GUN - oadではちまちま洒落や皮肉を言っていたので出番はあるかもしれないですよ。

それでは次話から真面目なGUN - oadをお楽しみください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9876x/>

---

ほりでー・ざ・がんろーど

2011年10月28日09時14分発行